



茅小だより

令和2年 7月号
茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 阿部 知宏

教育の重点：『心を育てる教育・確かな学力・環境教育・SDGs』

重点目標：【めざす子ども像】『思いやり（命）・協力・学びに向かう姿勢』

【教師のスローガン】

「挨拶・丁寧・迅速・チーム意識」

朝の明るい「あいさつ」は宝物に感じます。

私にとって、「旗振り」は沢山の児童達とあいさつを交わすことができるととても大切な時間です。あまり多くはありませんが、私があいさつをする前に自分から声をかけてくれる児童がいます。私が声をかけると多くの児童はあいさつを返してくれたり、うなずいたりしてくれます。そんな時、私はとてもうれしくなって心がウキウキします。その一方で、中には声をかけても何も言わずに通り過ぎる児童もいます。そんな時、私はその児童の気持ちをいろいろと想像します。そして、表情や声のトーンを変えてみたり小さな工夫を試みます。あいさつは人間関係の基本ですが、強制したいとは思いません。あいさつを繰り返す中で、あいさつを交わすことの良さに気がついてほしいと思います。あいさつって意外と難しいですね。



熱中症が心配です。熱中症警戒アラート発令時を含めて対応をまとめています。

既にお知らせしたように、今年度は例年であれば夏休み期間である「7月21日（火）～8月28日（金）（8月1日～16日を除く）」が学校休業日となります。この期間は、特に毎日のように暑さ指数（WBGT）が「**厳重警戒（28℃以上）**」や「**危険（31℃以上）**」となる可能性が高く、また、暑さ指数が「**33℃を超える**」と予想された場合、前日または当日の朝に「**熱中症警戒アラート**」が発令されることとなります。このアラートは気象庁の大雨等の「**警報**」とは異なり、アラート発令時でも学校での教育活動は行うことになると思います。現段階での本校の新たな熱中症対策は、昇降口付近に「ミスト」を、保健室に「製氷機」と「冷凍庫」を設置する予定です。その他にも可能な対策を検討しています。なお、保護者の皆様のご判断ですが、登下校時、周囲の人と離れて歩く場合は、マスクを外すことも「有」とであると指導したいと思います。

保護者の皆様には、お子様の登下校時の「帽子」や「涼しい服装」そして、夏バテしない体力づくり（規則正しい生活と食事、睡眠など）、小まめな水分補給の習慣づけへのご配慮を引き続きお願いいたします。

教職員の産休入りなど

3年生の保護者に方々には、既に通知を出しましたが「須田山直子先生」が6月12日（金）から産休入りいたしました。同日より昨年度の秋まで茅ヶ崎小学校で働いていた「岡崎博先生」が3年生に入ります。また、7月10日より「両角亜希子先生（栄養の先生）」も産休入りいたします。7月13日より、島崎美和先生がいらっしゃいます。

フェイスシールドの寄付（2回目）の申し出がありました。

一度目は5月末に、茅ヶ崎キャッツの「ちがにゃん」から、そして今回は茅ヶ崎キャッツ「はなこ」を名の方からフェイスシールドの寄付の申し出がありました。有効に利用できればと思います。

地球環境（教育）を守る活動を意識して「巻心の ECO プロジェクト」にご協力ください。

～ご家庭でも、このプロジェクトを話題にしていただけるとありがたいです。～

このプロジェクトは「粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用するエコ活動です。具体的には「マングローブ（熱帯や亜熱帯地方の河口など海水が満ちてくるところに生える植物の総称で、多くの生き物が住み、海の環境等にとってとても大切なもの）の植樹」や「植林や間伐を行い、森を守り、きれいな空気や水を生み出すとともに土砂災害を防ぐ運動」に協力する活動です。SDGs の「6.12.13.15」につながります。

この他にも、茅ヶ崎小学校では PTA 活動としての「テトラパック」や「使用済みのインク」の回収、児童委員会活動としての「プルタブ」や「ペットボトルキャップ」の回収、そして学校としての「書き損じはがき」の回収など、多くのリサイクル活動を実施しています。コロナ対策のエアコン使用時の配慮や、不要な場合の教室・廊下の消灯と合わせて、地球を守る意識を高められればと思います。

ユニセフ募金にご協力ください。（グローバルな視点の1つとして）

～こちらも、ご家庭で話題にしていただけるとありがたいです。（児童にはユニセフのチラシを配布します）～

昨年度の学校評価アンケートで「グローバルな視点の欠如」についてのご意見がありました。小学校の教科内容ではなかなか深く触れることは難しいのですが、簡単ではありますが、ユニセフについて紹介し、日本の環境とは異なる世界の状況についての認識と 77 億人の人類が同じ地球という星に住む仲間であるとの意識を持ち、助け合って生きていくことの大切さに気が付くきっかけになってほしいと思います。

Q ユニセフとは？…国際連合児童基金（こくさいれんごうじどうききん）で、世界中の子どもたちのために活動する国際連合（世界の問題を話し合っ解決を目指す組織）の中のひとつの機関です。

Q 子ども達が直面している問題とは？

例 1 世界では 1 年間に 530 万人もの子どもたちが 5 歳になる前に命を落としています。これは 1 日に約 1 万 5,000 人、およそ 6 秒にひとりの割合です。主な原因は「栄養不足」や「不衛生な水」です。

例 2 安全な水（きれいな水）が手に入らない、トイレがないことで、せきり、コレラ、寄生虫病などの怖い病気が広まっており、多くの子どもたちが犠牲になっています。

日本では「食べ残しや賞味・消費期限が切れた」ことで多くの食べ物が捨てられています。（食品ロスの問題）また、水道の蛇口をひねれば「きれいで安全な（飲むことができる）水」が出てきます。ですが、世界に目を向けると「日本の生活」は当たり前ではありません。むしろ特別であることがわかります。

お知らせ

【新型コロナウイルス感染症による小学校休校等対応「支援金」と「助成金」の資料】を職員玄関入って左手の棚に置きます。ご興味のある方はご自由にお取りください。尚、この資料は「文科省 HP」や「茅ヶ崎市公式 HP」にも掲載されています。